

# Feliz Natal e Feliz Ano Novo !

2022-2023

今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。  
この方こそ主メシアである。あなたがたは、産着にくるまって飼葉おけに  
寝ている乳飲み子を見つける。これがあなたがたへのしるしである。  
(ルカ福音書 2, 11-12)

敬愛する皆さまへ

クリスマスおめでとうございます！

この一年も暗闇が世界を覆っているような日々が続き、私たちは平和を求める祈りを続けてまいりました。御子イエスが弱く小さな乳飲み子となってこの世に来て下さり、飼葉おけに宿ってくださったその出来事をもう一度心に深くに受け止めて、信仰を新たにして生きるように励ましてくださる神さまに感謝しています。

今年の3月末をもって、日本基督教団の派遣宣教師を退任いたしました。そして、6月19日には横浜港南台教会において宣教報告会を持たせて頂き、26年間の歩みを振り返って、その宣教の喜びと恵みを多くの方々に分ち合う時を持つことができました。小さな者を選んでブラジル宣教に遣わしてくださった神さまの御業をほめたたえます。共に歩んでくださったすべての方々に心から感謝しています。

そのようにして人生の大きな区切りをつけてサンパウロに戻ってきてからは、何でもない一人の高齢女性になり、まず自分が住むアパートを見つけるのに大変苦労しました。幸い、かつて夫と共に奉仕させていただいたサンパウロ福音教会が快くゲストルームを提供して下さり、安心して5ヶ月半仮住まいを続けることができました。定住する場所を持たない不安な気持ちがほんの少しでも実感でき、良かったと思っています。10月中旬にようやく引っ越しが実現し、家具を買いそろえて何とか住環境が整い、いまは普通の生活が送れるようになりました。

けれどもこの半年間、責任ある仕事のない一人暮らしの生活を充実させて過ごすのはなかなか難しいことを知りました。教会で行われているデイサービス、シャロームの集いに週に2回参加して、温かい交わりの中に身を置き、おいしい昼食を皆と一緒に食べることで癒され、平安を保っています。16年間離れている間にシャロームは見事に世代交代して、今や日系2世のボランティアたちが創意工夫を凝らして、笑いとおもてなしあふれる活動を続けています。利用者の平均年齢は90歳以上、100歳を超える方も。ブラジル生まれのお年寄りが多くなってシンプルな日本語かポルトガル語で話されます。大した奉仕もしない私を「Fundadora 創業者」として受け入れてくださる厚意に甘えています。

日曜日にはサンパウロ福音教会の礼拝に、懐かしい方たちと参加しています。私の心の飼葉おけにも、新しく御子イエスが宿られるのを静かに待ち望みつつ。

御子ご降誕の喜びと希望が、皆さまの間に満ち溢れますように！

2022年12月

サンパウロにて

小井沼眞樹子